

製品名: フィブリラリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00048

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	FBL
別名	FIB; FLRN; Nop1; RNU3IP1
遺伝子 ID	2091
SwissProt ID	P22087
免疫原	ヒトフィブリラリンの合成ペプチド

背景

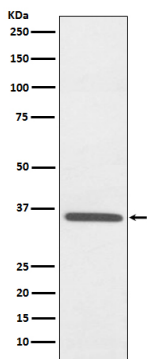
フィブリラリンは、核小体の線維状領域およびカハール体に存在する 2'-O-メチルトランスフェラーゼであり、RNA 転写および pre-

RNA プロセッシングが行われます。フィブリラリンは、他のいくつかの構造タンパク質およびボックス C/D snoRNA と会合して複合体を形成し、pre-rRNA プロセッシング、pre-rRNA メチル化、およびリボソーム組み立てに機能します。この複合体は、rRNA 配列内の標的ヌクレオチドの部位特異的な 2'-O-リボースメチル化を触媒します。フィブリラリンの配列、構造、および機能は高度に保存されており、フィブリラリン遺伝子の発現は初期胚発生に不可欠です。

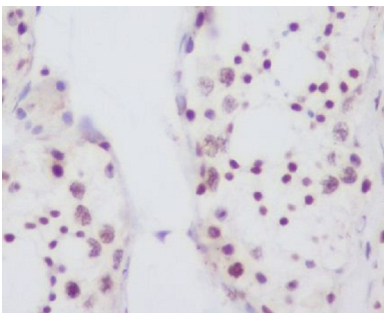
研究分野

タグとセルマーカー

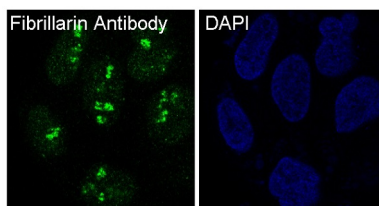
画像データ



フィブリラリン抗体を使用した HepG2 溶解物中のフィブリラリンのウェスタン ブロット分析。



フィブリラリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



フィブリラリン抗体を用いた HeLa 中のフィブリラリンの免疫蛍光分析。